



とよちゃん通信

皆さまこんにちは。

夏の疲れが出やすいこの時期、体調の変化に気を配るご家庭も多いのではないのでしょうか。

今号では、診察の場でよく聞かれることについて、小児科の先生にお答えいただきました。ご家庭での療養やサービス利用の際に、少しでもお役立ていただければ幸いです。

これからも、お子さまが安心して療養できる環境を整えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

JCHO北海道病院
マスコットキャラクター



今回は、風邪に関するよくある質問にお答えします！

Q.子どもが風邪をひいたら、すぐに受診した方がいいですか？

A. 風邪の症状があっても元気なら、急いで受診する必要はありません。風邪の原因の90%はウィルスです。ウィルスをやっつける薬はなく、自分の体の免疫力を高めることが大切です。風邪を治す秘訣は

- ①たくさん寝ること！
 - ②水分をこまめにとること！
 - ③ビタミンCを含めてしっかり栄養を取ること！
- 数時間かけて処方してもらった風邪薬よりも、効くかもしれませんよ。

Q.熱が38.5度になったら、すぐに解熱剤を使った方がいいですか？

A. 元気なら、38.5度のお熱でもすぐに解熱剤を使う必要はありません。熱が高くつらくて飲んだり食べたりできない、うなされてつらそう、というようなときには、解熱剤を使ってあげましょう。解熱剤を使っても40度の熱が37度につながるわけではありません。40度が38-39度くらいになって、少し楽になっている間に飲食や内服ができるといいですね。

Q.どんなときに受診したらいいですか？

A. 発熱が3-4日以上続くとき、元気がなくて飲食がいつもの半分もできないとき、おしっこの量がいつもより少なくなったとき、嘔気や嘔吐が続いて水分が取れないとき、咳がひどくて眠れないとき、苦しそうで眠れないとき、などは小児科を受診しましょう。

病児保育とは

病気やケガなどで登園や投稿ができないときに、仕事を休めない保護者に代わって、看護師や保育士が一時的にお預かりし保育をすることです。

当センターは北海道病院に付設しているので安心してお子さんを預けられます

対象のお子さん

- 1 札幌市内にお住まいの生後5ヶ月から小学6年生までのお子さん
- 2 病気にあって集団保育が困難なお子さん
- 3 かかりつけ医療機関の医師が、利用について差し支えないと認めていること

利用時間

月曜日～土曜日 8:00-18:00

利用料金 お子さん1人あたり(日額)
利用料3,000円＋給食費300円



お部屋の様子

2025年4月からWeb予約制になりました！



あずかるこちゃん
病児保育

- 1.アカウント作成
- 2.施設への登録
- 3.予約申込

1.あずかるこちゃんアカウントを作成(初回のみ)

QRコードから必要事項を入力し、アカウントを作成してください。アカウントをお持ちの方はステップ2へ進んでください。



2.施設への予約(初回のみ)

施設の詳細ページから当施設への登録をしてください。

3.予約申込み

施設の詳細ページから、日にちを指定して予約申し込みをしてください。

予約に関する注意事項

- ・病気によっては、定員に満たない場合でもお預かりが難しい場合がございます。
- ・キャンセルをされる場合は、キャンセル締切時間までに、あずかるこちゃんから行ってください。



(札幌市病児保育事業) 北海道こどもデイサービスセンター

☎011-831-3300 (予約受付時間) 平日8:00-17:00 土曜8:00-12:00

対象のお子さん 生後5か月から小学校6年生まで

ご利用方法

- かかりつけ医療機関を受診し「利用連絡書」の発行を受けてください。
- インターネット予約「あずかるこちゃん」で施設予約をします。

こどもデイサービス
パンフレット



「あずかるこちゃん」
登録、予約はこちら

